
個人投資家様向け説明会

2010年11月28日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード:8732

I . FXとは

II . マネーパートナーズグループのご紹介

III . 当社グループの収益構造、特徴と強み

IV . 経営戦略

参考資料

I . FXとは





外国為替証拠金取引(FX取引)の仕組み

1ドル=85円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

ドル高・円安
の進行

(為替レート)

1ドル=86円

(値上がり)

売り=1万米ドル
(円換算86万円)

86万円-85万円=
1万円の利益

レバレッジ5倍の場合は、証拠金17万円で1万円の差益を獲得

ドル安・円高
の進行

(為替レート)

1ドル=84円

(値下がり)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

85万円-84万円=
1万円の利益

レバレッジ10倍の場合は、証拠金8.5万円で1万円の差益を獲得

どちらからでも
取引開始が可能

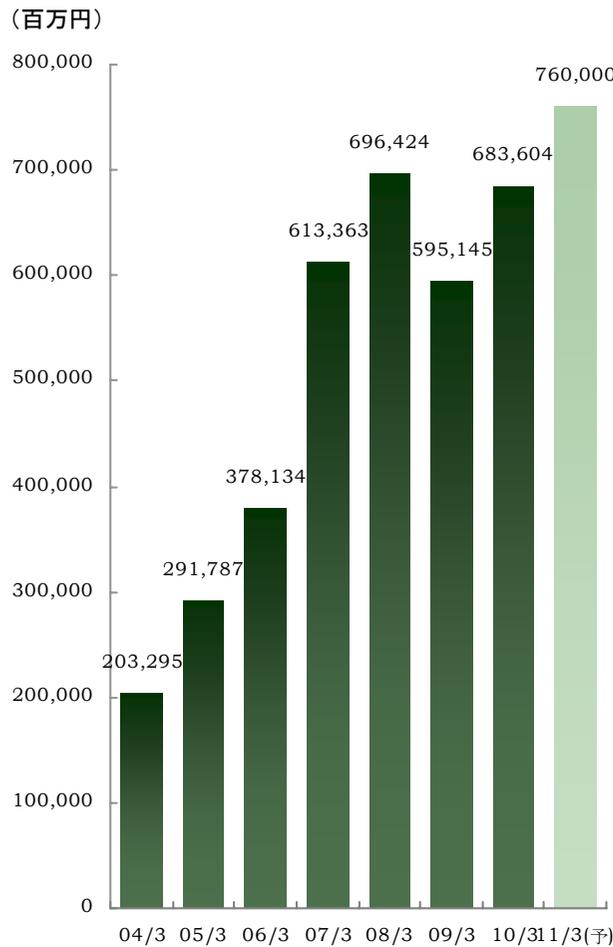


Money Partners Group

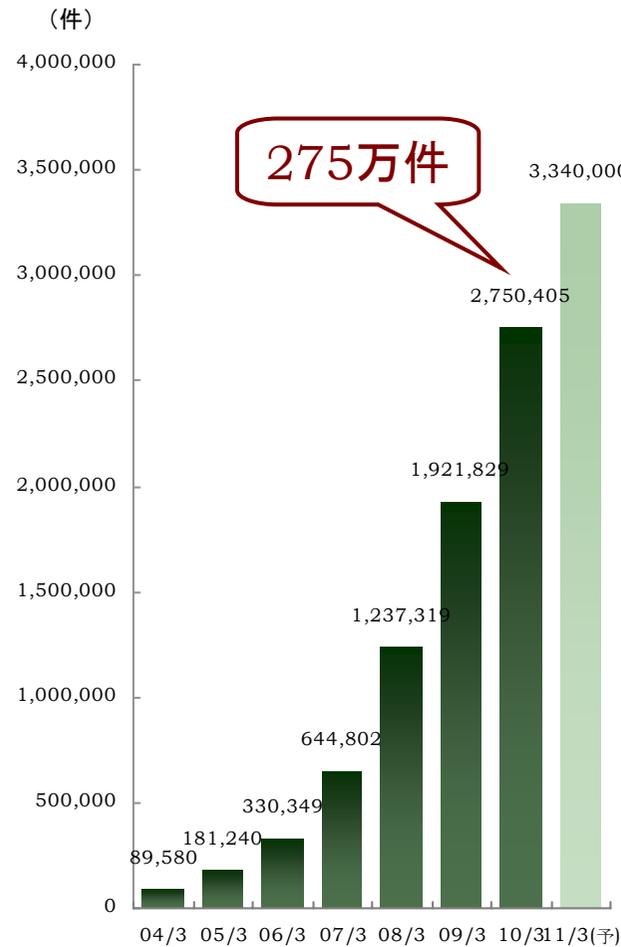
外国為替証拠金取引(FX取引)市場について

取引高については証拠金規制により減少すると予想されるものの、
今後はFX市場の透明化の進展に伴い市場規模、口座数も順調に拡大する見込み

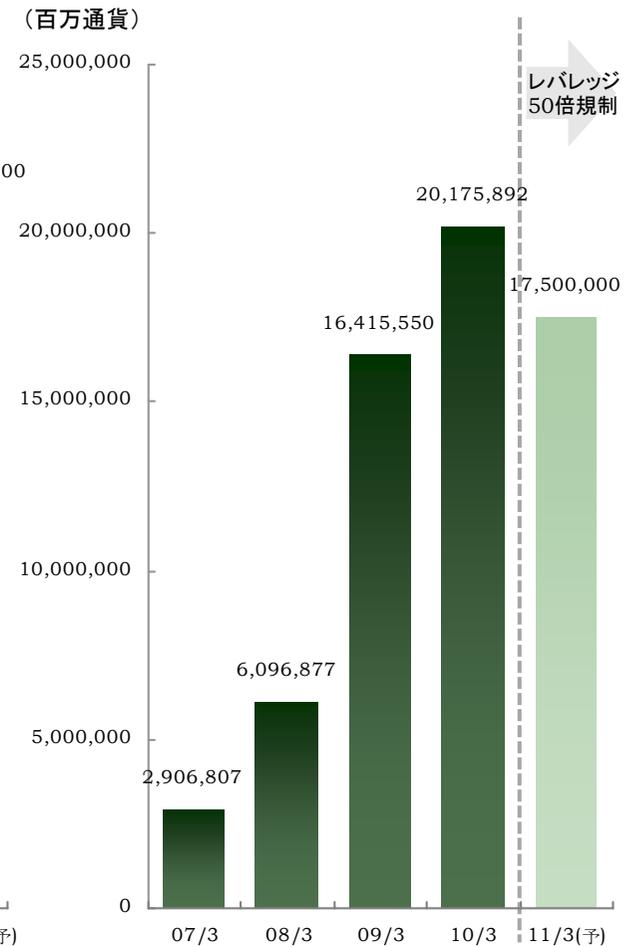
【預り証拠金推移】



【口座数推移】



【店頭取引の取引高推移】



※矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2010」より当社作成



Money Partners Group

外国為替証拠金取引(FX取引)の可能性

パスポート(一般旅券)発行数
(2009年1月～12月類累計)

401万件

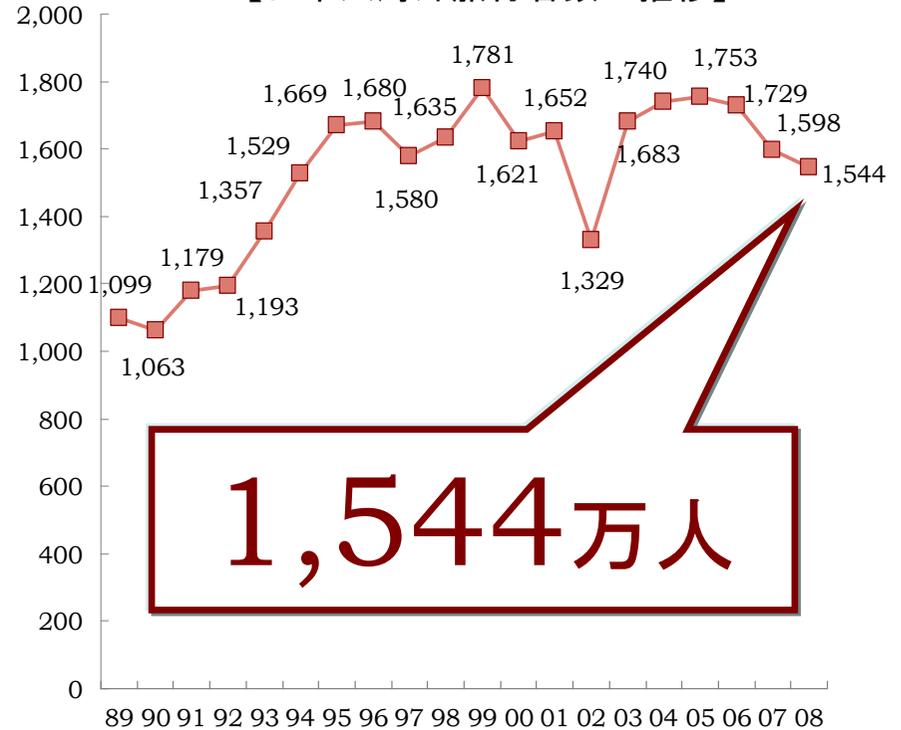
パスポート有効旅券数
(2009年12月28日現在)

5年旅券 784万人分
10年旅券 2,304万人分

計 3,088万人分

※外務省「旅券統計(平成21年1月～12月)」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



※平成22年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約1,500万人以上
FXの透明化・一般化に伴い、市場は更なる拡大の可能性も

I . マネーパートナーズグループのご紹介



FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
(その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更)

FX専門業者での上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ヘラクレス市場(※現JASDAQ市場)にFX専門業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約15万口座、預かり証拠金約330億円
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中ではトップクラス
- 外資系銀行と並び、『大証FX』のマーケットメイカーとして参加

会社ロゴ



社是

DON'T STOP!

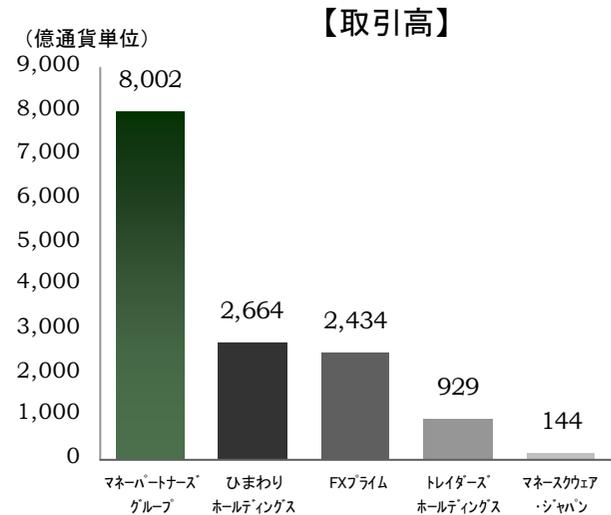
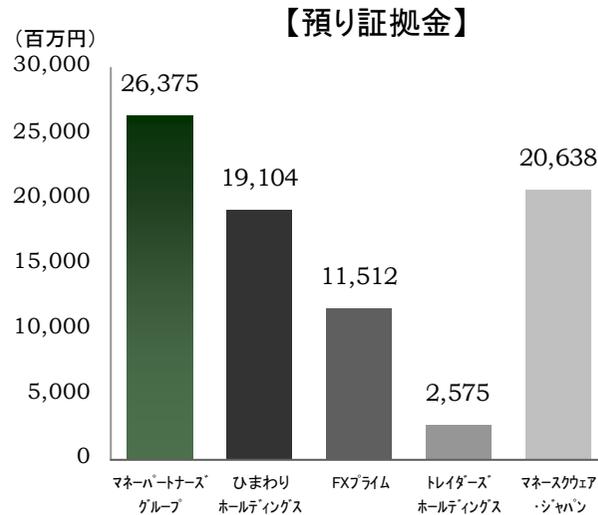
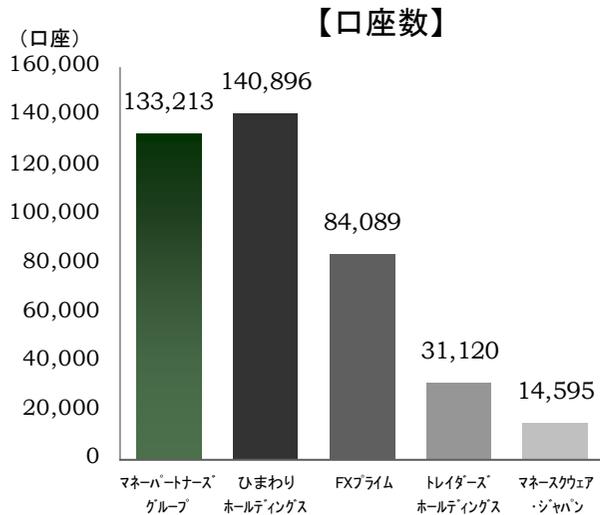
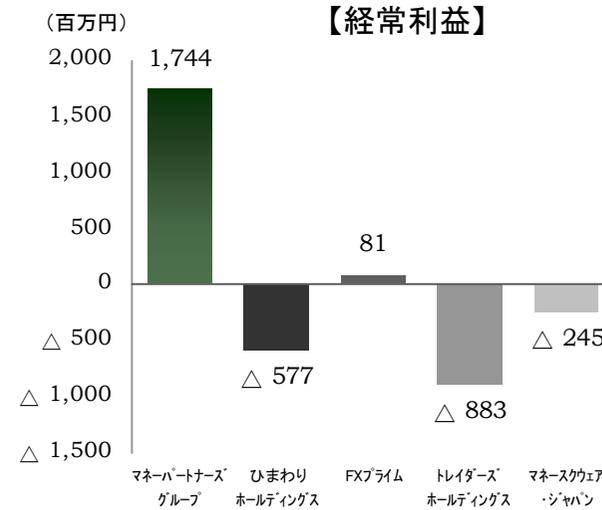
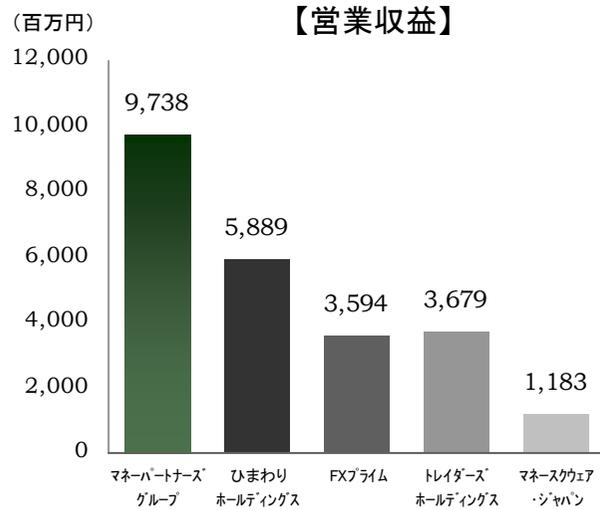
とめない、とまらない。



Money Partners Group

業績、経営指標比較 (FXを主要な事業としている上場企業)

当社グループと上場FX業者(専業および専業以外)の主要指標比較(2010年3月期)



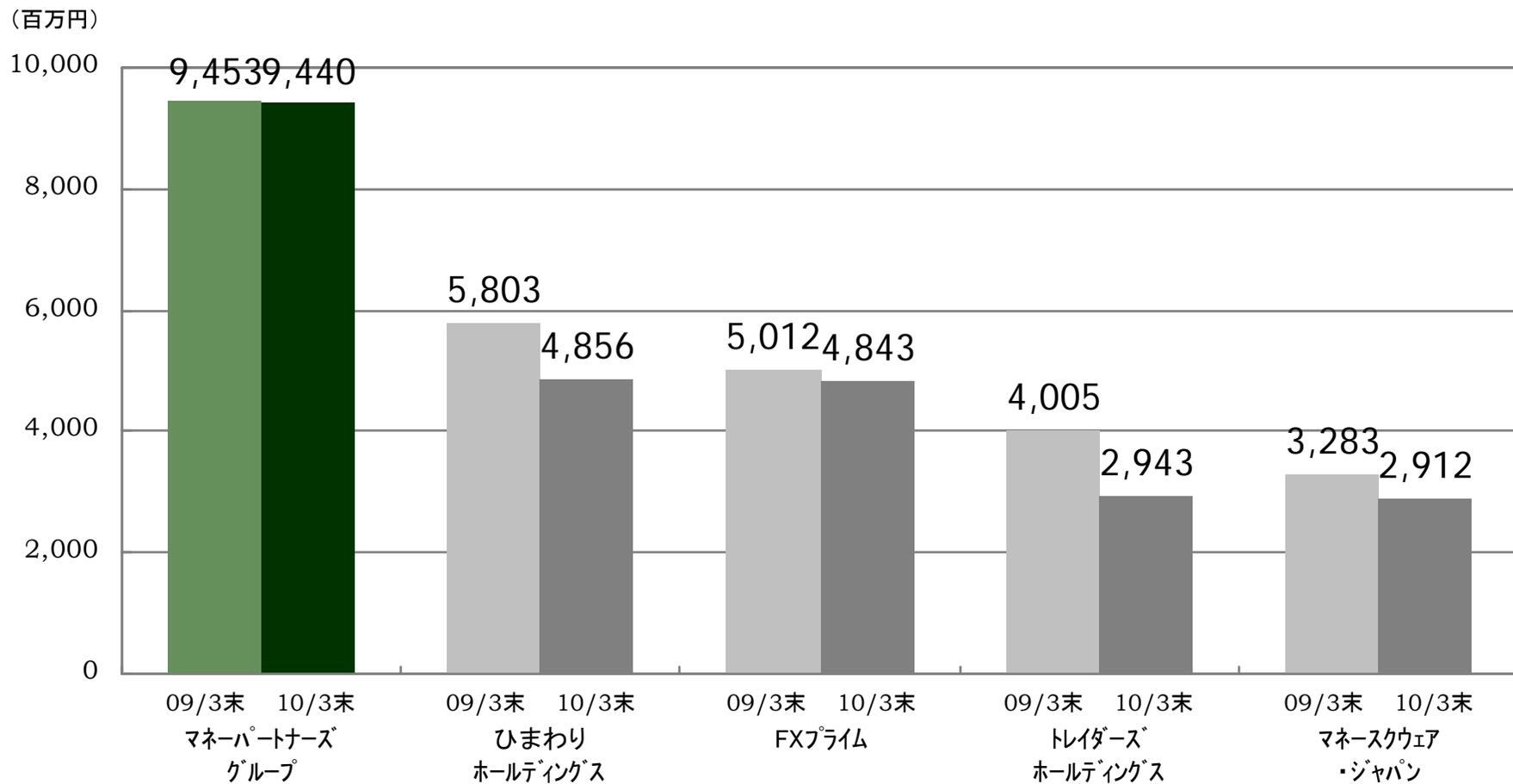


強靱な財務体質

Money Partners Group

◆ 充実した純資産がもたらす高い財務健全性

【当社と上場FX業者(専業および専業以外)の純資産額比較】



※各社ホームページIR資料より当社作成

Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





FX事業の収益構造

Money Partners Group



- ① 複数のカウンターパーティ(カバー先)よりレート提示を受ける
- ② その時々最良のレートを選択し、お客様への提示レートを生成、提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を元に、カバー先へ売買注文を執行する(カバー取引)

お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$83.500 - 83.490 = 0.010円$$

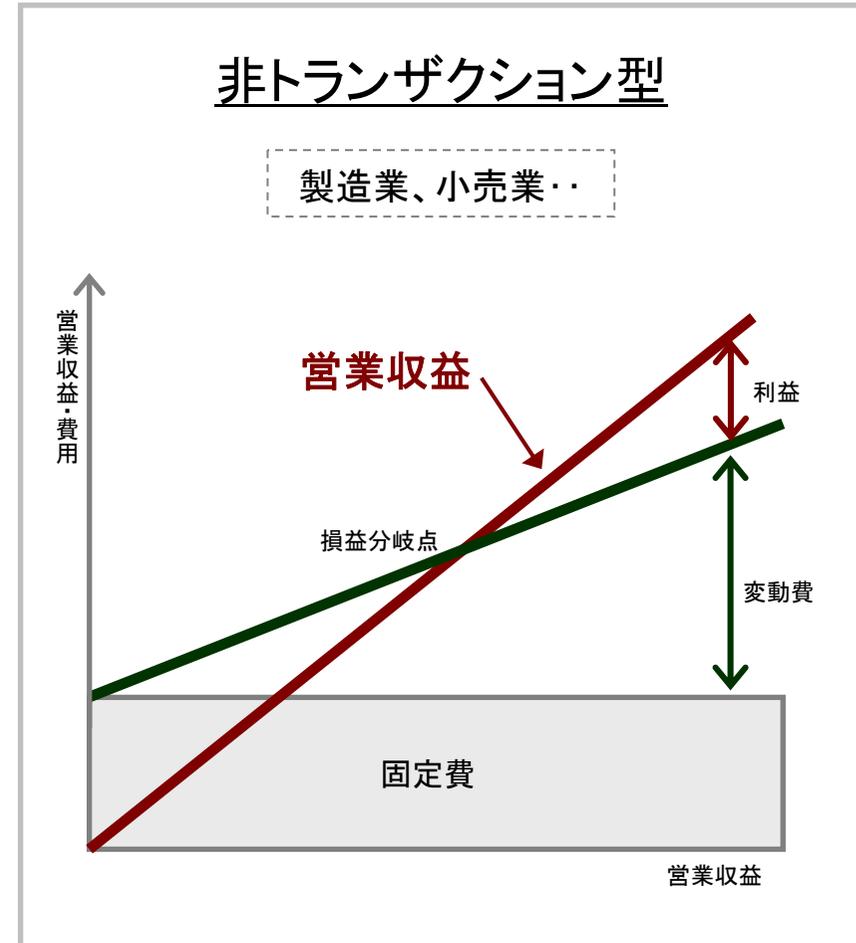
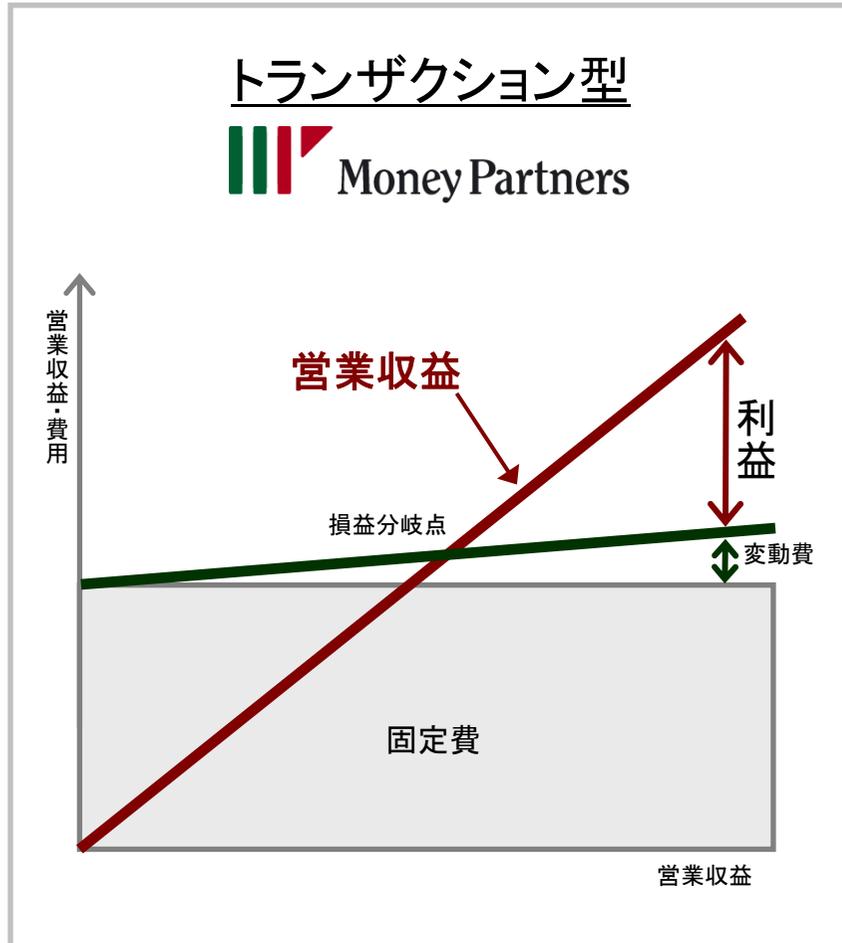
$$1万米ドル \times 0.010円 = \underline{\underline{100円}}$$

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.29、30、31)も併せてご覧ください。



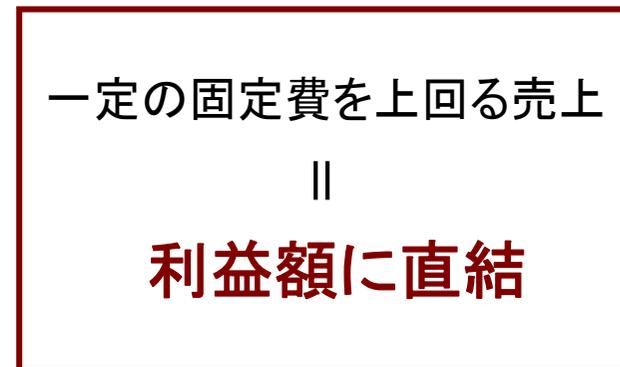
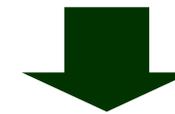
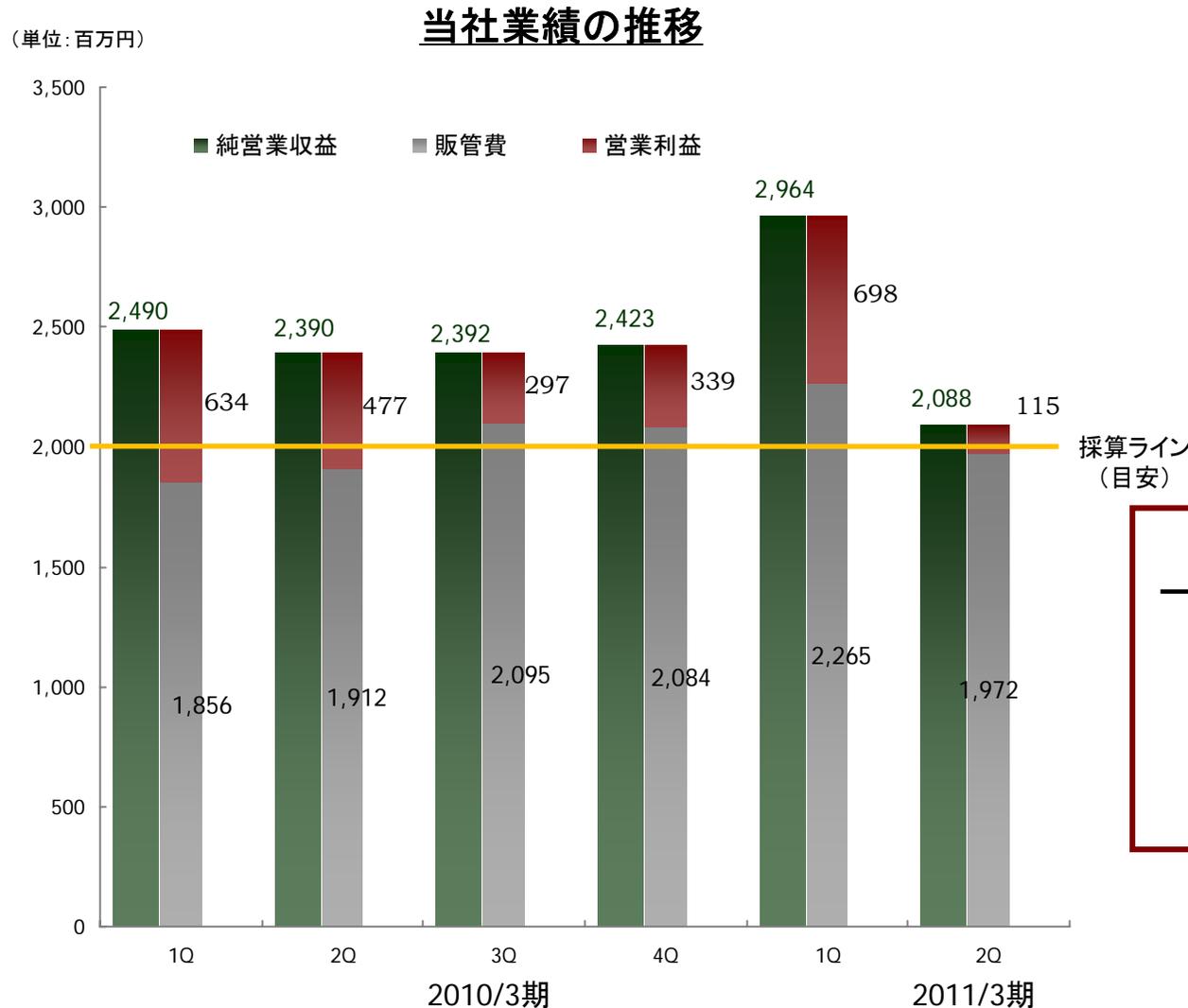
Money Partners Group

当社グループの収益構造



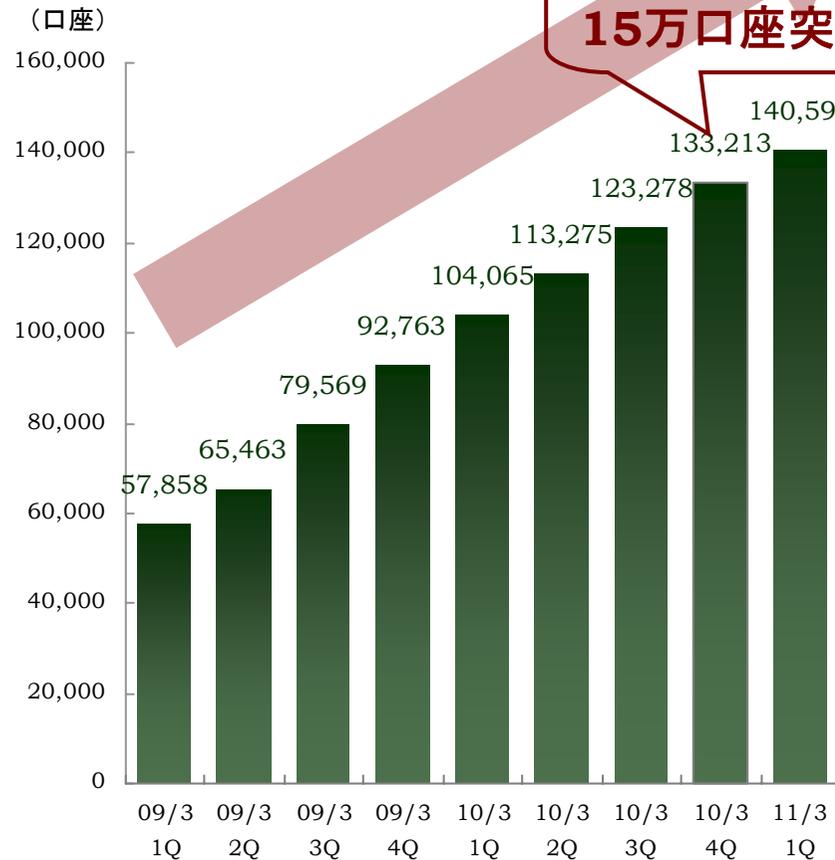
損益分岐点を超えた後は、営業収益(売上)に比例し利益も大きくなる事業構造

当社グループの収益構造

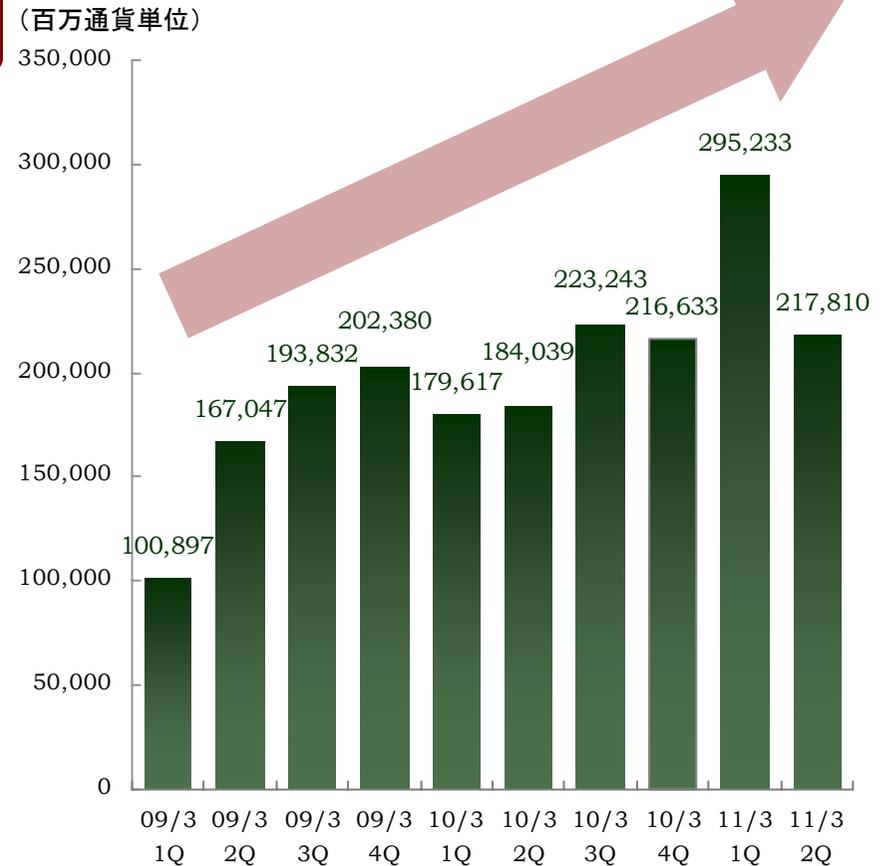


当社グループの口座数・取引高推移

取引口座の推移



当社グループ外国為替取引高の推移



取引口座: FX取引の拡大に伴い順調に口座数を拡大

取引高: リーマンショック・ギリシャ危機など為替変動要因のみならず、
継続的な取引高拡大施策等により堅調に推移



業界No.1の約定力と高いシステム安定性・信頼性

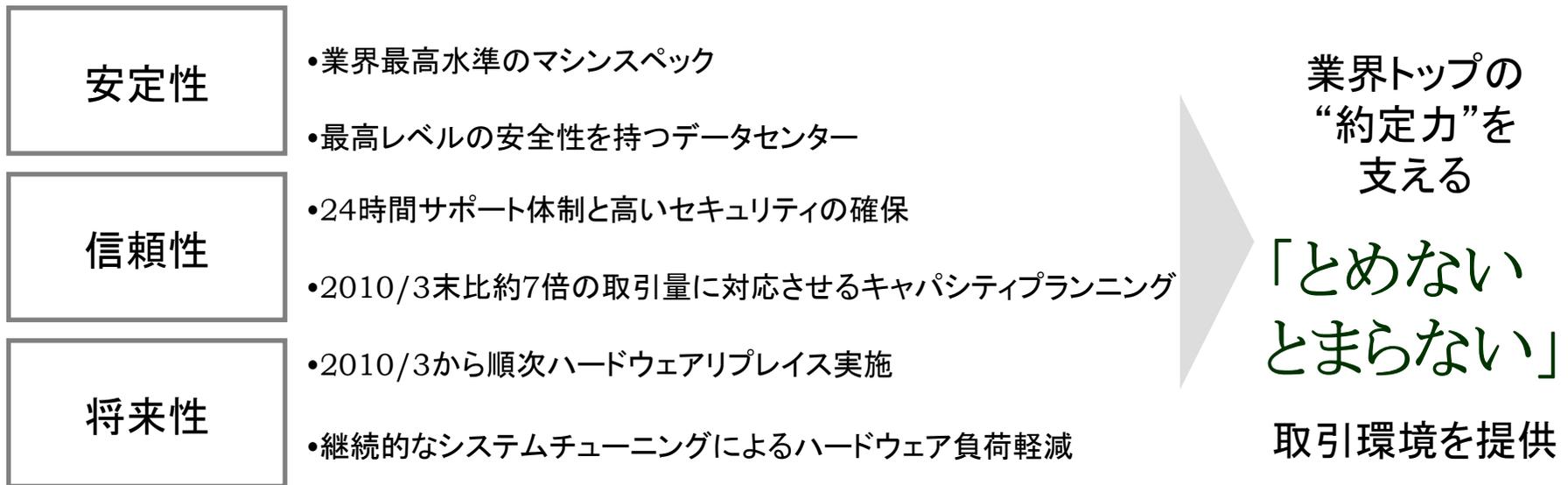
◆ カタログスペックにはあらわれない顧客の“実質コスト”を考慮した商品設計



(※1) 注文を出した値段で約定せずに顧客に不利な方向にずれて約定してしまうこと、またはそのズレのこと。

(※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル(拒否)されてしまうこと。

◆ システム専門会社をグループ内に保有し、ハードウェア・ソフトウェア両面に強み





Money Partners Group

高性能な取引ツールと顧客資産運用の幅を広げる証券サービス

◆ 顧客満足度の高いリッチクライアント取引ツールと付帯サービス

Hyper Speed NEXT



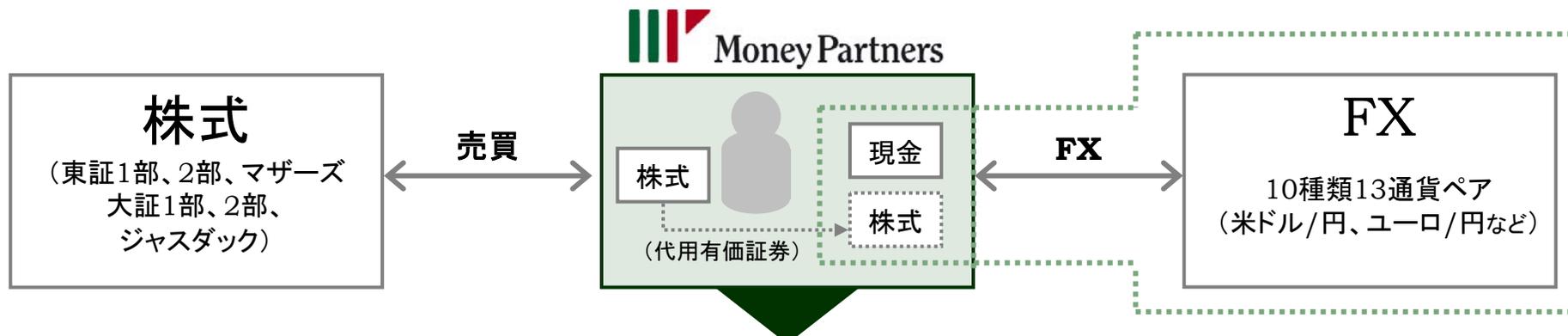
トレードレポート

会員専用サイト



Hyper Speed モバイル NEXT

◆ 有価証券取扱いサービスの拡充によるFX取引との相乗効果



顧客の利便性向上・資金効率の向上を実現 (FX取引の増加も期待)

IV. 経営戦略





今後のFX業界

Money Partners Group

- より一層の整備が図られるFXマーケット



透明化・健全化の更なる進展



税制改正に関する要望検討

金融庁の平成23年税制改正要望に「店頭デリバティブ取引等の申告分離課税化」が盛り込まれる

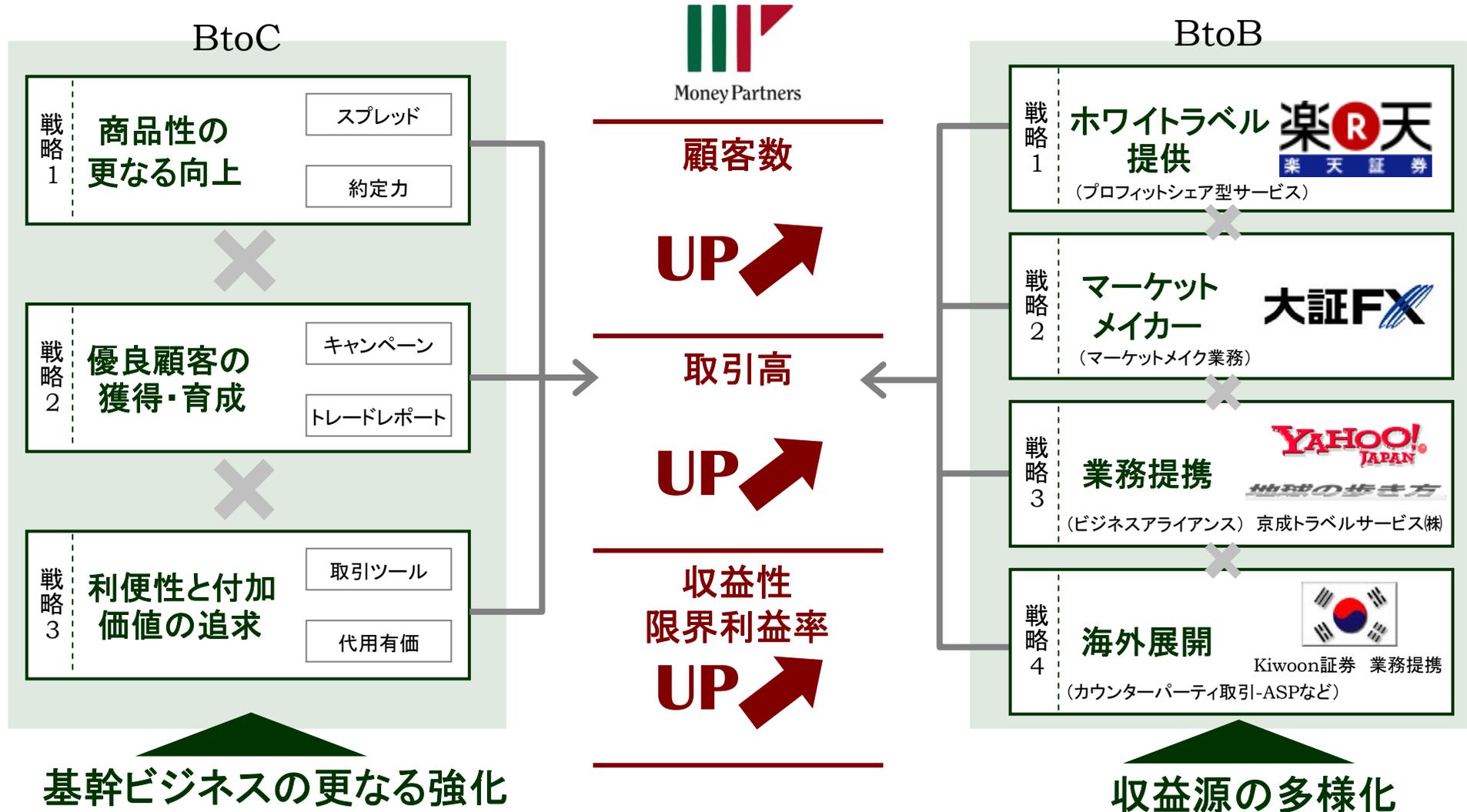
金融商品としてのメリットUPの可能性



BtoCサービスの更なる強化とBtoB展開の推進

Money Partners Group

- 主軸であるBtoCのFXビジネスをより一層強化
- 既存アライアンス先との関係強化を図るとともに、新しいBtoB展開を推進

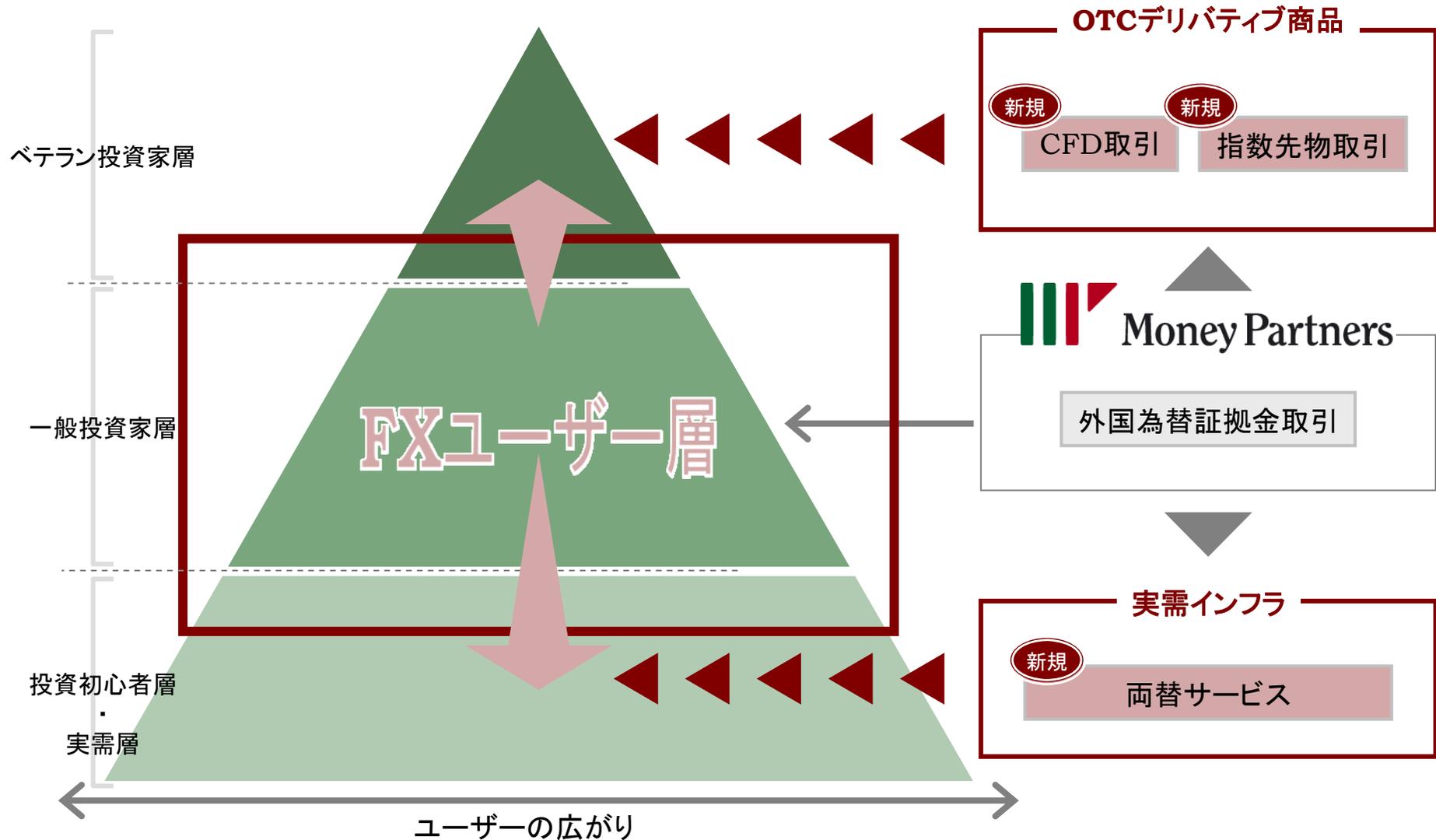




新規事業の開発

Money Partners Group

- FXを基軸とした相対取引サービスの追加と実需インフラサービスへの展開



業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2010年3月期				2011年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	403	334	213	195	394	59		
配当金の総額 (百万円)	220		139		139			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)							
1株当たり 配当金	700円		450円		450円			

参考資料



グループ概要
四半期・月次業績の推移
収益構造



Money Partners Group

グループ概要(平成22年9月30日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億68百万円

- 主な事業内容 持株会社

■関連会社

株式会社マネーパートナーズ

加入協会: 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会

登録番号: 関東財務局長(金商)第2028号

事業内容: 1.金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務

2.外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務

3.金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容: 1.外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守

2.外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究およびコンサルティング





四半期業績推移

Money Partners Group

◆ 四半期業績推移

単位:百万円

	2009/3期		2010/3期				2011/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	3,586	3,167	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	△29.3%
受入手数料	1	0	0	0	0	0	0	0	40.0%
トレーディング損益	3,570	3,096	2,480	2,382	2,381	2,417	2,955	2,077	△29.7%
金融収益	12	7	3	5	4	5	6	5	△8.8%
その他の売上高	2	63	24	5	18	7	13	21	63.1%
金融費用	0	0	0	0	0	2	2	2	12.6%
売上原価	-	39	17	3	10	5	8	14	62.3%
純営業収益	3,585	3,126	2,490	2,390	2,392	2,423	2,964	2,088	△29.6%
販売費・一般管理費	1,924	1,926	1,856	1,912	2,095	2,084	2,265	1,972	△12.9%
営業利益	1,661	1,200	634	477	297	339	698	115	△83.5%
経常利益	1,659	1,197	636	476	295	336	693	107	△84.4%
税金等調整前四半期純利益	1,659	1,195	636	476	295	336	671	107	△83.9%
四半期純利益	1,024	826	403	334	213	195	394	59	△84.8%
営業収益経常利益率	46.3%	37.8%	25.4%	19.9%	12.3%	13.8%	23.3%	5.1%	



月次業績指標推移

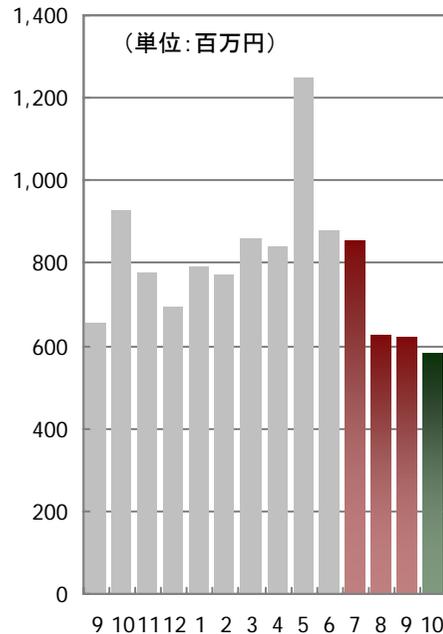
Money Partners Group

◆月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

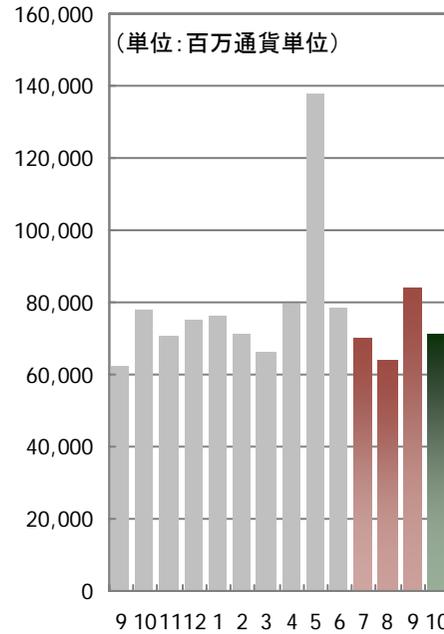
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業収益(百万円)	656	928	777	697	794	775	860	843	1,249	882	855	627	622	584
取引高(百万通貨単位)	62,076	77,652	70,481	75,109	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247
顧客口座数(口座)	113,275	116,632	119,881	123,278	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789
顧客預り証拠金(百万円)	27,295	25,444	27,331	25,557	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。
顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。

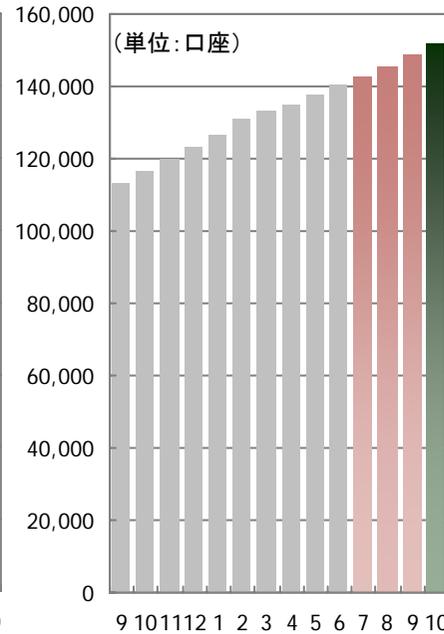
■営業収益



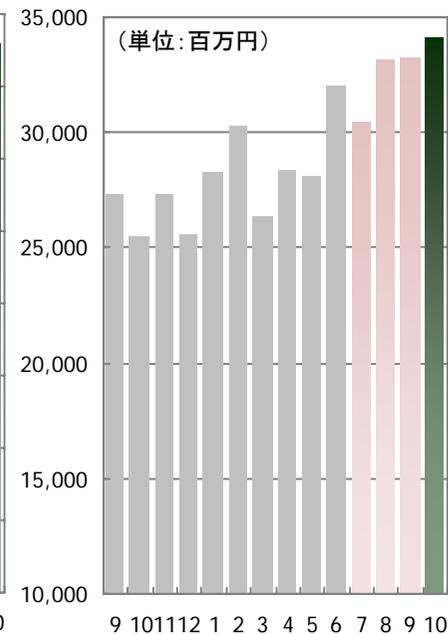
■外国為替取引高



■顧客口座数



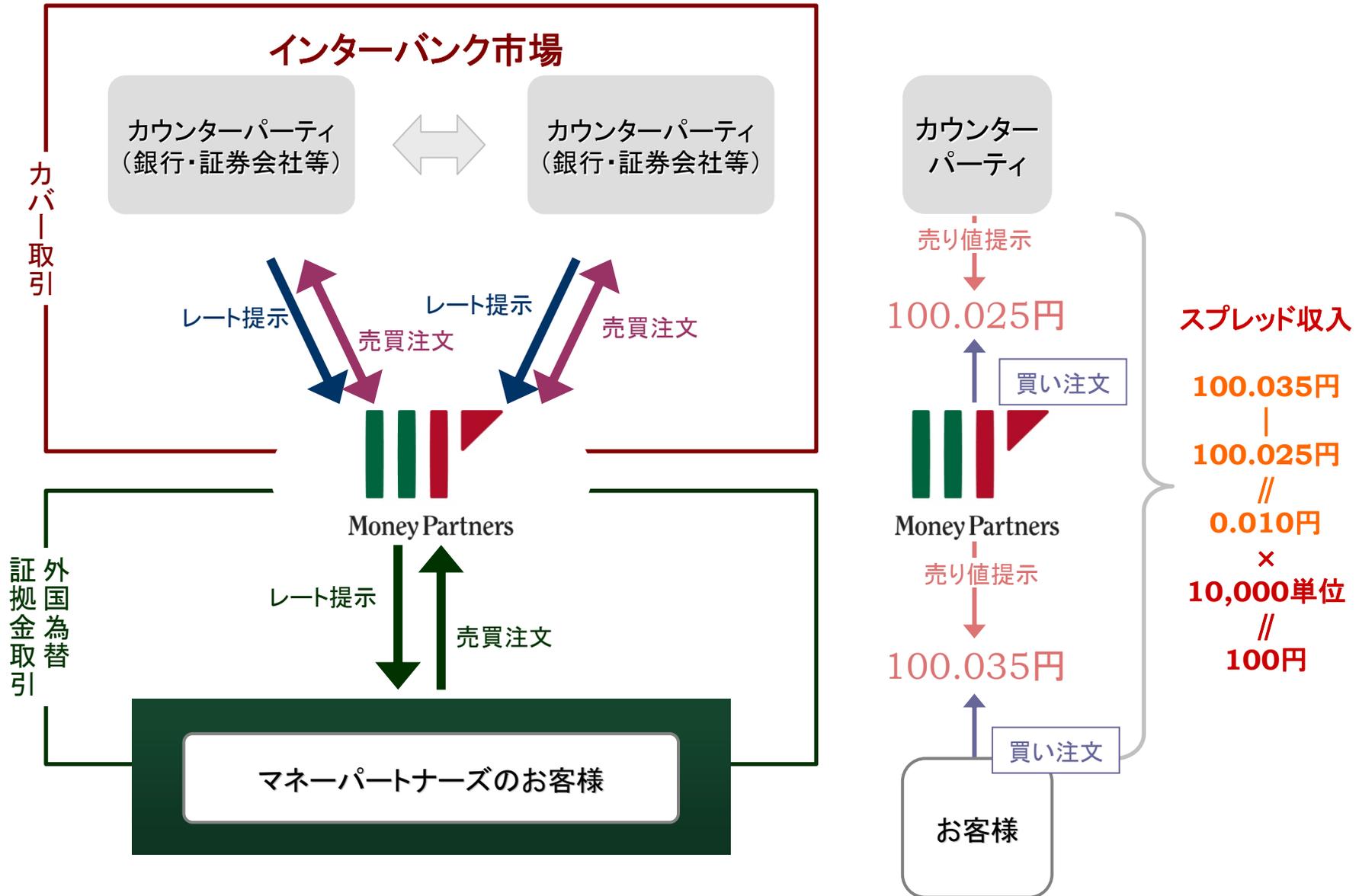
■顧客預り証拠金





Money Partners Group

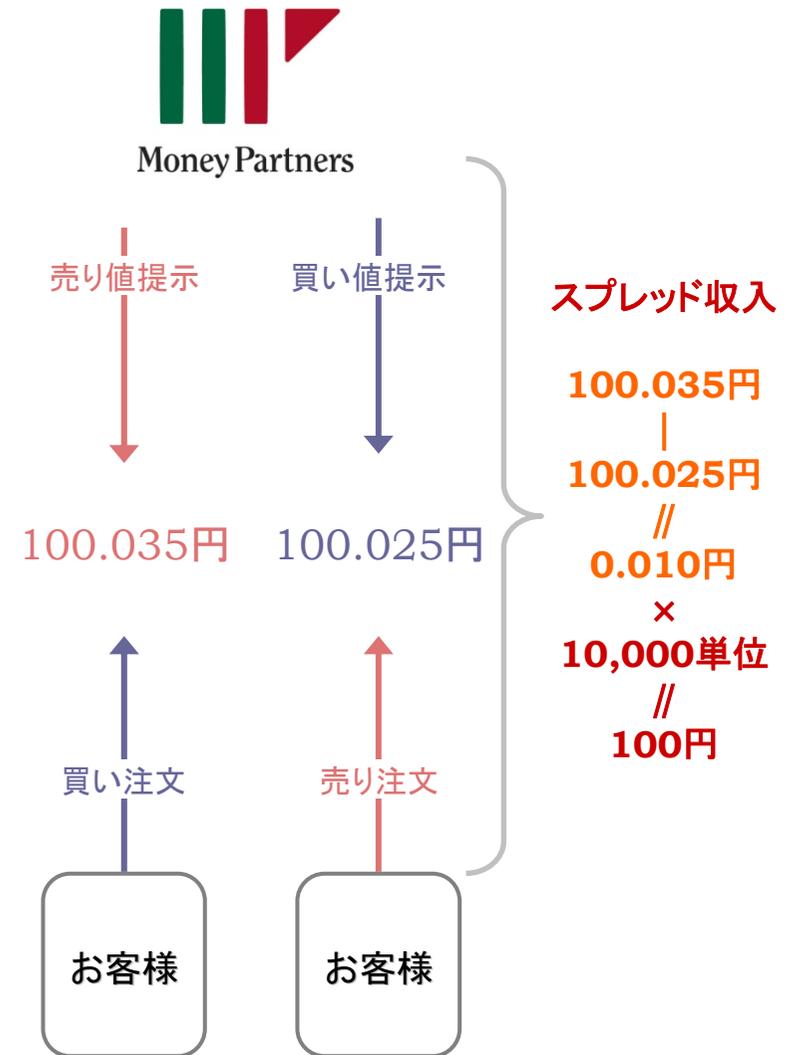
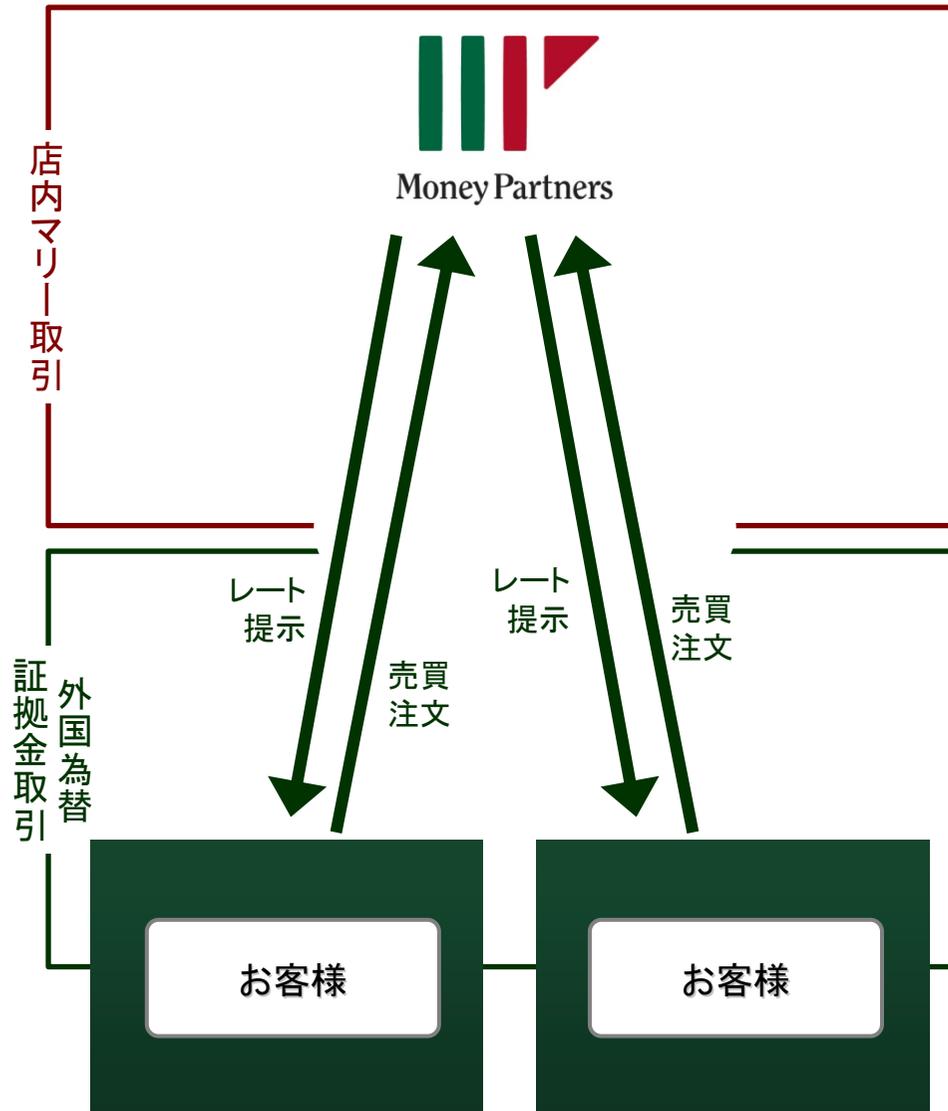
マネーパートナーズの収益構造 (BtoC/カバー取引)





Money Partners Group

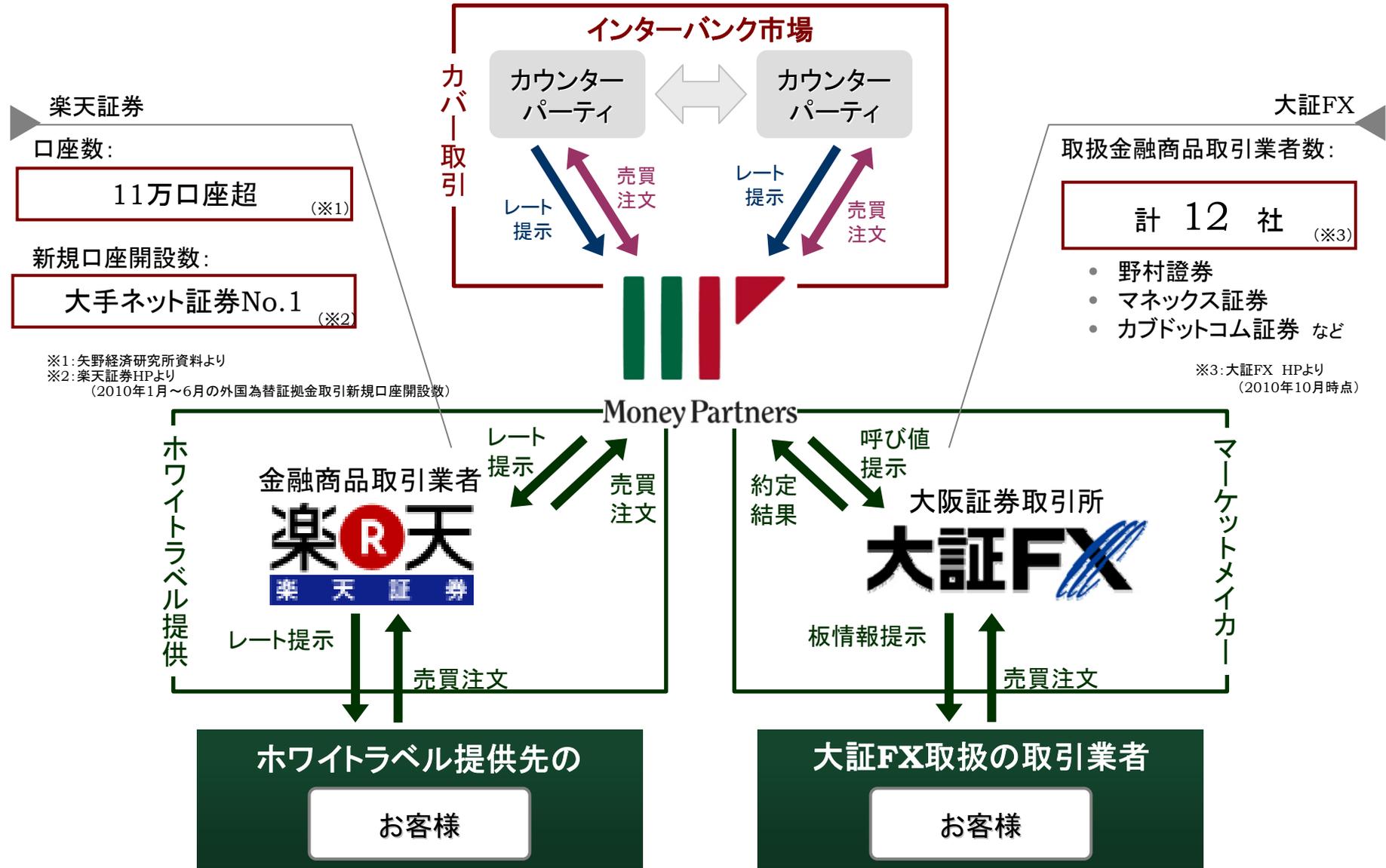
マネーパートナーズの収益構造 (BtoC / 店内マリー取引)





マネーパートナーズの収益構造 (BtoB)

Money Partners Group





本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2010年11月28日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2010年11月28日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、およびパートナーズFXnanoは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。

また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料です。電話取引(パートナーズFXのみ)の場合、10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭です。

取引に必要な証拠金は、取引の額の2%以上の額で、証拠金の約50倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会